

## 第62回 全国溶接技術競技会開催状況

第62回 全国溶接技術競技会が、平成28年10月9日（土）、10日（日）に北海道函館市ポリテクセンター函館で開催されました。

昭和27年から日本溶接協会等関連団体が主催となって、全国大会を全国各地持ち回りで開催しておりますが、函館市で開催されるのは今年が初めてとなります。

溶接技術の基本となる、被覆アーク溶接と、炭酸ガスアーク半自動溶接の2種目で全国のトップを争う競技です。参加選手数は、各種目とも56名、計112名の参加です。

昨年度の優勝者は、2種目とも、愛知県代表のトヨタ自動車（株）の選手でした。

今年の優勝等結果発表は、12月になるとのことです。

当機構の職員（ポリテクセンター岡山の金属系指導員）も岡山県代表選手として参加しました。

以下、開催の状況の写真です。



開会式



選手宣誓



大会会場正面玄関



選手受付



持参工具計量



選手競技会場へ移動



アーク手溶接



炭酸ガスアーク半自動溶接



手溶接作品



半自動溶接作品



# 火花散らし溶接の腕競う

函館 全国大会に技術者112人



火花を散らして金属を溶接する出場者たち

溶接技術日本一を争う「第62回全国溶接技術競技会北海道地区函館大会」が9日、函館市日吉町3のポリティクセンター函館で開催された。都道府県の代表112人が出場。造船所や自動車メーカーなどで働く技術者たちが腕を競った。

日本溶接協会などの主催で函館開催は初めて。大会では溶接部分の仕上がりや強度などが審査される。出場者たちは、専用マスクで顔や目を保護しながら、電気による高熱で金属を溶かし、2枚の板を接合。火花を散らしながら慎重に作業を進めた。

道南からは、函館溶接協会の推薦を受けた函館工

くの船尾晟矢さん(24)―七飯町―と、道南産機工事の田中直樹さん(28)―北斗市―が出場した。

成績はエックス線検査も交えた審査を経て、12月中旬に発表される。(星野真)

## 森町長選あす告示

無投票の公算大

【森】任期満了に伴う森町長選は11日告示される。これまでに立候補を表明したのは再選を目指す現職の梶谷恵造氏(60)―無所属―のみで、無投票の公算が大きくなっている。

立候補締め切りは同日午後5時。梶谷氏は午前9時に町内御幸町の事務所出